

# 一 般 演 題 抄 録

### 33. 気管支喘息発作中に急性心筋梗塞を発症した1例

生田新一郎 井川 寛 松浦真宣 森井秀樹 黒岡京浩  
高井博之 林 孝浩 金政 健 石川欽司  
近畿大学医学部第1内科学教室

症例は69歳女性。気管支喘息の診断で近医通院加療中であつた。平成11年9月2日気管支喘息の発作が出現し、近医で午前11時にテオフィリン点滴中、前胸部痛が出現、心電図上 V2～V6 で ST 上昇が見られ急性心筋梗塞の診断で午後1時に当院CCUへ救急搬送となつた。入室時前胸部痛は持続していたが、冠動脈造影施行時には消失し、有意狭窄は認められなかつた。なお心エコー上前壁中隔、心尖部に

壁運動異常が見られCPKも506IU/lまで上昇した。その後リハビリテーションを行うも胸痛の出現なく壁運動異常も改善傾向が見られた。今回の病態には冠攣縮による急性心筋梗塞の発症及びmyocardial stunningの状態が考えられた。気管支喘息発作中に急性心筋梗塞を発症した症例を経験したので若干の考察を加えて報告する。